

令和2年4月20日

(院内HP用)

対象となる方へ

対象：愛知学院大学歯学部附属病院放射線・画像診断科にて2007年4月1日から2019年5月31日までに「滑膜性骨軟骨腫症」を疑いパノラマX線画像とCTを撮影し、手術を行なった方。

研究名：滑膜性骨軟骨腫症のCT所見に関する後ろ向き研究

(後ろ向き研究：過去に撮影した画像データを分析します)

実施責任者：愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 教授 有地榮一郎

概要：顎関節に生じる滑膜性骨軟骨腫症 (synovial chondromatosis; 以下SC) は関節腔の拡大や関節腔内に石灰化物を形成し、痛みや開口制限を特徴とする疾患です。最近ではCTを用いたSCの症例報告がされているが、ほとんどが顎関節の周囲に大量の石灰化物を伴ったものです。しかし石灰化物のない症例もあるため、石灰化物以外で特徴となる画像所見を分析し、顎関節症との違いを評価することはSCの早期発見に有用となります。

評価内容：CT、パノラマX線画像の分析を行います。

個人情報の保護：個人情報の保護に関する法律に基づき、情報は厳重に管理します。

研究結果の公表：個人が特定できないようにし、関連する学会での発表や論文を学術雑誌に投稿します。

*対象となる方でこの研究内容に同意されない場合は、放射線・画像診断科に申し出て下さい。また、不明な点がありましたら放射線・画像診断科に申し出て下さい。

以上

この告知は、愛知学院大学歯学部倫理委員会の承認を得て行います。

愛知学院大学歯学部附属病院

放射線・画像診断科

有地榮一郎

TEL:052-759-2111(代)

内線5374